

平 泰 無疆

天曆曆日月並出  
應垂垂青天地震動  
神龜龜星流宮中庭落女

婢女等竹佛景を流  
光昭皇后光を放つ  
に名を雲霧のなる  
佐用姫望まむと  
流姫と名と預け  
病なき女を乞ふ

男

奇

清寧寺主を安用  
小野皇女のつかひ  
大倉康秀の全あつと云ふ  
浦島太郎達をある  
縁起をたぬの話をたぬり  
大徳寺の仙人となる

相替三  
燦亡

弘安西  
土ヶ共  
船海没

文祿西  
人家  
毀損

江戶振袖交  
神風家古品覆  
京天寶言路落

元正七	弘化三	寶曆四	寬平	延久二	慶長	永祿元	享壽	寬文	元化元
正月	正月	駿州	十月	六月	四月	八月	每秋	正月	出羽

遠州大津原  
活火大丸出  
軍燒雲涌出  
南海を主動  
天鼓の音を  
聞ゆる月出  
日三方を  
降石雨の降  
大坂天守燬  
象島地震

寶龜	寶龜	寬仁	寬弘	齊衡	人王	建長	承元	天仁	委和	皇土	泰三	延元	嘉祥
四月	都	二月	三月	二月	寧	春	空	秋	幅	空	飛	奈良	復
雲赤の	虹殿中	日月紅	月の中	模長記	天狗星	月の也	玉余の	宮本人の	十夫衆	赤た云	伊豆海	大佛目	諸國其

ありては 實義 太平 中  
 小ありて 延徳 元  
 のこと 天平 中  
 小星の重 自風 八  
 星の重 元和 三  
 星の重 安永 三  
 星の重 天文 三  
 星の重 承元 三  
 星の重 天智 七  
 星の重 嘉元 元  
 の重 正中 四  
 の重 元禄 六  
 の重 天平 三  
 の重 享保 三  
 の重 天保 十  
 の重 享保 三

奥州石巻より  
京ふめへゆ  
少國の泥船に  
乗つて雪の  
柳の下を歩  
五月京本あり  
様時梅雨あり  
白山寺の山崎  
常楽庵にて  
裁縫のり衣出  
清水庵云々  
近江牛車落  
関（下）  
紀伊の宮  
關西の水邊  
大坂井原より  
伊門の舟渡す

太平肇  
 地神始  
 大室三  
 延元二  
 寶平四  
 文政土  
 應永五  
 百鳳三  
 延元二  
 延元二  
 和銅五  
 天智元  
 室龜九  
 弘化四

[illegible]

李堅	賈幹	李承	李觀	康亮	賈亮	喬亮	同亮	張亮
七月	七月	二月	三月	李亮	二月	七月	秋中	山嵐

信州大地震  
關東大崩壊  
淺原焼去  
奥羽山鳴動  
周防海大鼓現  
日輪上冠頸元  
月輪三並出ん  
星落如雨の如  
京大佛燬火  
長嶺津浪唐船を  
陸吹上

長元	明長	應永	延永	仁壽	延長	貞觀	寶保	神龜	天延	延壽	寬文	享和
十月	和別	下野	秋	八月	四月	正月	土月	六月	倉魯	七月	五月	宣
北國	大職冠像	奈須野次	西三河	天壽雷	禁中	西三河	福目生	太田生	満月申	日輪月	天曉	天曉

文安元  
 自鳳  
 寛政二  
 寶永元  
 安永八  
 寛政四  
 天元三  
 養虎元  
 持統七  
 向風三  
 文政十  
 長祿元  
 寛政三  
 天保三  
 享和三

六月毛をあらは  
 夏ものさあめの下  
 信濃をばらちり  
 七月小野あ  
 柿の下きわめ  
 六月雲女大徳  
 大徳饒考雷の  
 温泉饒饒鳥枝  
 示天國降る  
 鳥饒の湯きき  
 迫にききつ  
 佐多の地あそ  
 数後の雲大徳  
 精ひの池の水南  
 河川は流町  
 江上土田解は  
 流きき

草薙 文田 長辨 九尾 仁平 仁德 元元 文替 衛二 天香 同七 長安 仁安 朱鳥 嘉元  
 長辨 九尾 仁平 仁德 元元 文替 衛二 天香 同七 長安 仁安 朱鳥 嘉元  
 長辨 九尾 仁平 仁德 元元 文替 衛二 天香 同七 長安 仁安 朱鳥 嘉元

[illegible]

花二秋  
 文四八月晦  
 永代橋落  
 天平知百 甲十字有龜出  
 妖下 妖下 妖下

嘉永元<sub>申</sub>歲仲秋  
飯繁堂版